

2020 年度 千葉大学 (前期)

医学部

試験時間 : 120 分

 全問必答

1 袋の中に 1 から 5 までの整数が書かれたカードが 1 枚ずつ入っている。その中から 1 枚取り出して戻すという試行を繰り返す。 n 回目に取り出したカードに書かれた整数を a_n とし、 $S_n = a_1 + a_2 + \dots + a_n$ とする。 n 回目に初めて S_n が 3 の倍数になる確率を p_n とする。

- (1) p_2, p_3 を求めよ。
- (2) $n \geq 2$ のとき、 p_n を求めよ。
- (3) $n \geq 4$ とする。 S_1, S_2, S_3 が 3 の倍数でなく $a_3 = 5$ であったとき、 n 回目に初めて S_n が 3 の倍数になる条件付き確率 q_n を求めよ。

2 a は 0 でない定数とする。2 つの放物線 $y = x^2$ と $x = \frac{1}{2a}y^2 + \frac{3a}{4}$ の両方に接する直線がちょうど 3 本となるような a の範囲を求めよ。

3 複素数平面上で複素数 $0, \sqrt{3}, \sqrt{3} + i$ を表す点をそれぞれ A_1, B_0, B_1 とする。正の整数 n に対して、点 A_{n+1} は線分 $A_n B_n$ の中点とし、点 B_{n+1} は直線 $A_n B_n$ に関して点 B_{n-1} の反対側にあり、三角形 $A_{n+1} B_n B_{n+1}$ が三角形 $A_1 B_0 B_1$ と相似になるものとする。点 A_n ($n = 1, 2, 3, \dots$) が表す複素数を z_n とする。

- (1) 複素数 z_3 を求めよ。
- (2) 複素数 z_6 を求めよ。
- (3) 正の整数 m に対して、複素数 z_{6m} の実部と虚部をそれぞれ求めよ。

4 有理数 a, b に対して、 $(a + bi)^2$ の実部と虚部が整数ならば a, b は整数であることを証明せよ。ただし、 i は虚数単位である。

5 定義域を $0 \leq x \leq 1$ とする関数 $f_n(x)$ と $f(x)$ を以下で定める。

$$f_1(x) = 0, f_{n+1}(x) = \int_0^x (f_n(t) - 1)^2 dt \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

$$f(x) = \frac{x}{x+1}$$

- (1) 正の整数 n に対して、不等式

$$0 \leq f_n(x) \leq 1 \quad (0 \leq x \leq 1)$$

が成り立つことを証明せよ。

- (2) 正の整数 n に対して、不等式

$$(-1)^n f_n(x) \geq (-1)^n f(x) \quad (0 \leq x \leq 1)$$

が成り立つことを証明せよ。

- (3) 実数 a ($0 \leq a \leq 1$) に対して、極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} f_n(a)$ を求めよ。

2020年度 千葉大学 (前期)

医学部

(略解)

☞ 証明, 図示などは省略

1

(1) $p_2 = \frac{8}{25}, p_3 = \frac{24}{125}$

(3) $q_n = \frac{2 \cdot 3^{n-4}}{5^{n-3}}$

(2) $p_n = \frac{8 \cdot 3^{n-2}}{5^n}$

2

$a < -\frac{1}{\sqrt{2}}, \frac{1}{\sqrt{2}} < a$

3

(1) $z_3 = \frac{2\sqrt{3}}{3} + i$

(2) $z_6 = \frac{5\sqrt{3}}{9} + \frac{14}{9}i$

(3) $\operatorname{Re}(z_{6m}) = \frac{\sqrt{3}}{2} \left\{ 1 - 3 \left(-\frac{1}{27} \right)^m \right\}, \operatorname{Im}(z_{6m}) = \frac{3}{2} \left\{ 1 - \left(-\frac{1}{27} \right)^m \right\}$

4

証明は省略

5

(1) 証明は省略

(2) 証明は省略

(3) $\frac{a}{a+1}$